

万博中止を

カジノと一体で税金投入



質問する山下芳生議員

「カジノのための万博であり、カジノのためのインフラ整備だ」—。日本共産党の山下芳生参院議員は8日の予算委員会で万博もカジノも中止するよう強く求めました。

山下参院議員が追及

2025年に開催予定の万博と30年秋ごろの開業めざすIR（カジノを中核にした統合型リゾート）は、大阪湾の人工島「夢洲」が予定地。両者は一体で整備されています。万博関連事業は、夢洲へのアクセスや上下水道整備なども含め、1.2兆円以上。万博は終了後、パビリオンなどは撤去されますが、インフラは

カジノに引き継がれます。

山下氏は、「そのために何百億、何千億円もの税金が使われることを国民が納得するはずがない」と万博中止を要求。岸田首相は「中止を考えていない」と答弁しましたが、今引き返さないと負担が倍増します。万博中止の場合の補償上限額は来年4月なら349億円。それを過ぎれば835億円。山下氏は「引き返す勇気を」と迫りました。

いま引き返さねば補償金は倍に

折り目

企業・団体献金 全面禁止法案を提出

パーティー券も規制



小林史武参院事務総長(右から4人目)に企業・団体献金全面禁止法案を手渡す井上哲士参院幹事長(その右)ら党議員団=5日、国会内

清潔な党ならでの提案

自民党派閥の政治資金パーティー不正が噴出するなか、日本共産党は5日、企業・団体によるパーティー券購入を含めて政治献金を全面的に禁止する「企業・団体献金全面禁止法案」を国会に提出しました。企業・団体献金を1円も受け取らず、政治資金パーティーを開かない清潔な党ならでの提案です。

形を変えた政治献金

政治資金規正法は、政治家個人への献金は「わいろ」になりやすいとして、企業献金を受けられる政治団体を政党と政治資金団体に限っていま

日本共産党

す。ところが、政治資金集めのためのパーティー券代は、派閥のような一般の政治団体でも企業に購入を求めることができます。

金権腐敗根絶へ

いま裏金疑惑がかけられている自民党派閥のパーティーの利益率（収入から経費を引いた利益の割合）は約9割で、とても「対価」に見合っていない。パーティー券収入は形を変えた政治献金です。

企業・団体献金の全面禁止は、政治腐敗を根絶し、国民の政治不信を回復する道です。

総選挙 近畿の比例名簿掲載予定者

日本共産党



たつみやま
元参院議員 新47



堀川あきこ
党京都府常任委員 新37
(京都2区補選)



清水ただし
衆議院議員2期 前55
(大阪4区補選)



こむら 潤
党兵庫県常任委員 新48
(兵庫8区補選)

制度解説

衆議院選挙投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
選挙区は「候補者の名前」で

衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。

近畿民報

2023年12月No.3(第580号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。

パー券裏金

安倍派 5億円? 大半議員へ 岸田派 過少記載疑い

「しんぶん赤旗」日曜版のスクープ（昨年11月）に端を発した自民党派閥の政治資金パーティー券の裏金疑惑は、底なしの状況です。

安倍派は、パーティー券収入を裏金化した総額はこの5年間で5億円規模、所属議員（99人）の大半がキックバックを受け、政治資金収支報告書に記載していなかった疑いが判明しました。岸田派は、収支報告書にパーティー券収入を数千万円過少に記載していた疑いが明らかになりました。

訂正 前号の本文で安倍派、二階派の裏金の疑いが1兆円超としたのは、1億円超の誤りでした。



「現金詰まった茶封筒を渡された」

麻生派（志公会）。「赤旗」日曜版（10日付）が、関係者の証言を紹介しました。志公会の前身・為公会では「所属議員がノルマを超えて販売したパーティー券のキックバックは“裏金”で渡していた」「派閥の例会で、名前を呼ばれた議員が別室に入ると、派閥幹部がキックバック分の現金が入った茶封筒を渡した」。“裏金”処理が派閥ぐるみで行われたことを裏付ける決定的証言です。

真相解明が最優先 自民関係者証人喚問を

日本共産党の小池晃書記局長は、裏金疑惑について「最優先すべきは真相の解明だ」として、関係者を証人喚問し、衆参予算委員会での集中審議を行うよう主張しました。

（11日、記者会見）

証人喚問の対象は自民

小池書記が会見

日本共産党

オスプレイ 事故死65人

構造的欠陥機 撤去せよ

空飛ぶ棺おけ

米軍横田基地を離陸するCV22オスプレイ=11月29日



【開発段階】	【実戦配備後】	これまでの死亡事故
92・7・20	10・4・8	●内の数字は死者数
00・4・8	11・7・7	米本土
00・12・11	12・4・11	//
	14・10・1	//
	14・5・19	アフガニスタン
	15・5・17	アフガニスタン
	17・7・11	モロッコ
	17・8・5	ペルシャ湾
	22・3・18	米本土
	22・6・8	ハワイ
	23・8・27	米本土
	23・11・29	オーストラリア沖
		ノルウェー
		米本土
		オーストラリア
		※鹿児島・屋久島沖
		合計 65人

※米空軍は5日、乗組員8人全員の死亡を認定

米軍は鹿児島県屋久島沖でのCV22オスプレイの墜落事故を受け、オスプレイ全機の飛行停止を発表しました。オスプレイは開発段階から墜落事故が相次ぎ、65人が死亡しています。あまりの犠牲者の多さに米メディアから「空飛ぶ棺おけ」と呼ばれたこともありました。

日本共産党の田村智子副委員長は「構造的欠陥の可能性があるのですべての飛行を中止するということだ。日本に配備されているオスプレイすべての撤去を求める」と表明しました（8日、記者会見）。



「しんぶん赤旗」日曜版の10日付紙面